



令和3年度 学校だより

# はがきた

第7号 令和3年11月2日

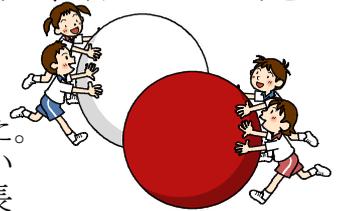
## 教育目標

集中して学び、生命と人権を守り、生きる力の基礎を身に付けた子どもを育成する。  
『学ぶ子 守る子 がんばる子』

## 秋深し! もうすぐ立冬!!

11月に入り、めっきりと涼しくなってきたように感じますが、保護者の皆様にはますます御健勝のことと思います。11月7日(日)は二十四節気の立冬で、暦の上では冬を迎えるわけですね。寒さを感じるわけですね。県内のあちこちからは、紅葉が見頃になったという便りが届いています。晩秋ともいえるこの季節を、森の木々の色づき等を見ながら楽しみたいものですね。

さて、先日行われた運動会の際には御協力ありがとうございました。児童の一生懸命な姿はいつ見ても感動します。今年もとてもうれしい思いをさせてもらいました。大きな行事をやりきって、また1つ成長の跡が見えました。この後の学校生活が楽しみです。保護者の皆様には、制限のある中、熱心に参観して頂き、本当にありがとうございました。御覧に入れることができたことをとてもうれしく思っています。引き続き御協力よろしくお願いたします。



## 大きなサツマイモがとれました!!

10月の21日(木)には1年生と3年生、25日(月)には2年生のサツマイモ掘りがありました。自分たちが植えたサツマイモの苗からたくさんのお芋が収穫でき、大きな歓声が上がっていました。中には、顔ほどの大きさのあるサツマイモがあり、満面の笑顔を見せていました。それぞれがサツマイモを持ち帰り、児童たちの体験談とともに楽しく食べて頂けたと思います。収穫の喜びを味わえたことはとても大きな経験だったと感じています。



## たくさんの御協力に感謝!

今学校には、マスターズボランティアさんによるミシンの指導補助や更生保護女性会様によるトイレの消毒と清掃など、たくさんの協力があります。とても助かっています。ありがとうございます。コロナ渦で、思い切り児童とふれあうことはできませんが、またよろしくお願いたします。

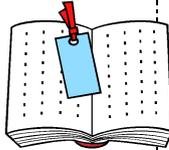
## マスク・球根を頂きました!!

更生保護女性会様から、球根百個頂きました。どんな花が咲くか楽しみです。また、協永堂印刷様から、マスクを二千枚頂きました。大切に使用させていただきます。様々な御協力、ありがとうございます。



## 11月の主な行事予定

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1(月) 登校バス早便・遅便交換     | 16(火) 教職員による読み聞かせ |
| 2(火) 更生保護女性会ボランティア来校 | 芳賀郡市教育祭           |
| 3(水) 文化の日            | 更生保護女性会ボランティア来校   |
| 4(木) 1年生活科校外学習       | 校内読書祭り            |
| 5(金) 運動会振替休日         | 1年親子で益子焼手びねり体験    |
| 8(月) 校内読書週間(~11/19)  | 6年野口英世記念館出前授業     |
| 教育相談(~11/19)         | 勤労感謝の日            |
| 9(火) 更生保護女性会ボランティア来校 | 避難訓練③ 委員会⑥        |
| 10(水) 北小タイム(表彰、校長講話) | PTA労力奉仕(資源物回収)    |
| 11(木) 2年生活科校外学習      | 持久走前の臨時健康診断       |
| 12(金) 6年租税教室         | 更生保護女性会ボランティア来校   |



# ☆児童たちの活躍・学校生活の様子☆



【サツマイモ掘り】



【球根頂きました】



【マスク頂きました】



【ミシンボランティア】



【先生方の嘔吐物処理研修】



----- 非認知能力を高めよう -----  
 私の息子がお世話になっている高校の野球部の監督が「私の部活動運営の方針は非認知能力を育てることです」とおっしゃっていました。「非認知能力」、聞いて知っているものの詳しく考えたことがなかったので調べてみることにしました。

人間の能力は、大きく「認知能力」と「非認知能力」の2つに分けられるといえます。「認知能力」とは、読み・書き、英語力、IQ(知能指数)といった、点数などで数値化できる能力のことです。一方「非認知能力」とは、認知能力以外の能力、つまり、テストなどで数値化することが難しい内面的なスキルを指します。具体的には「目標を決めて取り組む」「周りの人と円滑なコミュニケーションをとる」といった力のことで、子どもが人生を豊かにする上でとても大切な能力であると言えます。

近年、「非認知能力」は、世界的にも注目されているといえます。それは、アメリカで行われた40年にも及ぶ調査で、非認知能力を高める教育をされた人たちが、学習成績が高く、より安定した社会生活を送り、犯罪率や生活保護受給率もより低かったという結果に基づくものです。今後、子どもたちが生きる社会は、国際化やポータリティが進み、ますます変化に富み多様化していきます。この時代を生き抜く上で、今改めてこの「非認知能力」が注目されているということなのです。しかしながら、現在、私たちはこの数値化できる認知能力のほうに重きを置いているように感じるので、将来豊かな生活を送るためには、この「非認知能力」こそ重要で、認知能力を高めるためにも必要であるというわけです。

ではどうすれば高めていけるかが問題になります。その方法例として、①「遊び」を通して育む。②好きなことを通して育む。③周囲との関わりの中で育む。と言われていきます。幼児期や学童期は、たくさんの友達と幅広く触れ合う機会が多いほか、家族で過ごす時間も長いものです。楽しい時間を共有する中で、自然と非認知能力を鍛え、子どもの将来につながるような豊かな力を育てていけるといいですね。

## 具体的な非認知能力の一例

- 自己認識: やり抜く力、自分を信じる力、自己肯定感
- 意欲: 学習志向性、やる気、集中力
- 忍耐力: ねばり強く頑張る力
- セルフコントロール: 自制心、理性、精神力
- メタ認知: 客観的思考力、判断力、行動力
- 社会的能力: リーダーシップ、協調性、思いやり
- 対応力: 応用力、楽観性、失敗から学ぶ力
- クリエイティビティ: 創造力、工夫をする力

(「虹の森クリニック」坂野真理院長の解説より一部抜粋)

※芳賀北小ホームページでは、カラーで学校だよりを掲載しています。ぜひ御覧ください。

